



お か ざ き と し こ

伊賀びと(伊賀市)岡崎 とし子さん(84歳) 永年ボランティア



島ヶ原に、書道・和裁・俳句・民舞と多彩な趣味を生かして今もお活動を継続している現役ボランティアがいる。8020いい歯のコンクール入賞者でもある笑顔がとともチャーミングなボランティア歴45年のベテランボランティアの岡崎さん。

今から45年前、三重大大学の医師から「ボランティア」を知り活動に関心を持ち、自分にも何かできることがあるのではと、一人暮らし高齢者への配食サービスや、友愛訪問・奉仕活動などを始めたのがきっかけ。当時は、ボランティアという概念や活動への理解が少なかったため、ボランティア活動する人は「暇な人」「変わった人」「ええカッコしい」という偏見的なイメージが強かったようだ。そのため、チャリティバザーやアルミ缶収集・草引きや花いっぱい運動など、いろいろな活動を行いながら理解を求めてきた。主婦の仲間と一緒に施設を訪問しシート交換のボランティアに参加したり、ご主人が民生児童委員であったこともあり、地域での声かけ訪問や見守り活動も行ってきた。

昭和62年に島ヶ原地域に初めて誕生したボランティアグループ「ふきのとう」の設立時のメンバーでもある岡崎さん。冬の寒さにも負けず春には力強く芽吹く「ふきのとう」に名前が決まった時には大変嬉しかったようだ。牛乳パックや包装紙などを再利用して作る心のこもった手作りの品は友愛訪問時等に届けられ大変喜ばれているそうだ。まさに生活そのものがボランティア精神に基づいているようだ。

「気がつけば今年でもう85歳。私も立派な高齢者の一員。まずは健康第一。今後も、ふきのとうのメンバーと一緒に仲良く楽しく無理なく活動を続けていきたい。『できるときに・できることを・できる人で』をモットーに、命ある限り、あたたかい思いやりの心を、一人でも多くの人に伝え、届けていきたい。」と元気に語ってくれた。

く る ま も と た だ お

伊賀びと(名張市)車本 忠夫さん(77歳) 地域のお助けマン

平成5年9月に亡くなった妻の遺言に「友達や近所の方から頼まれることはいいが、自分から人様に頼ることはしないで」とあったことで、地域の方のお役に立たなければと、自宅前に『困ったことがあればお声かけください』と看板を立て『地域のお助けマン』として活動を始めた車本さん。

活動は地域の方の口コミで広がっており、リピーターも多いという。依頼の多くは年配の方であり、「こんな物作ってもらえる?」「こんなことやってもらえるの?」と声がかかると、一度自宅へ行き相談した上で活動に取りかかるという。依頼内容については、『踏み台』『茶箆筒』『紙芝居用の木枠』『棚』等の家具の作製や修理が多いという。「できるだけお金をかけずにどうやって地域の方に喜んでもらえるか」と考え活動することで頭の活性化になり、自分の健康にもつながると、これまでに数多くの物を作製してこられた。また、「資格はないが、目で見える視角はある。」と家財道具の診断や修理等の相談も状況に応じて行っている。

このほかにも、平成5年4月から名張市安全推進委員(現生活安全推進委員交通安全部会副部長)として、地域の子どもの交通安全活動も継続して行っている。

頼まれごとを断ることなく笑顔で活動している車本さんであるが、妻の残した言葉だけではなく、地域の方の『笑顔』や『ありがとう』の言葉が活動の支えとなりこれまでやってこれたという。「若い頃のように動くことはできないが、自分のためにやっている活動である」と周りの方に迷惑をかけない程度に活動を続けていきたいと語ってくれた。



なんでもかんでも情報BOX

官民パートナーシップ事業 「隠(なばり)元気まち仕掛け人塾」開講

地域・市民活動団体・ボランティア・企業が力を合わせて、元気なまちづくりを目指す「仕掛け人」講座がスタートします。(全7回予定)

第1回のテーマは、「企業の地域デビュー」です。

【日時】9月23日(水祝)13:00~16:00

【場所】名張市市民情報交流センター(希中央)

【内容】講演「地域貢献できる働き方」

講師...中川幾郎(帝塚山大学大学院教授)

座談会「地域・市民活動団体・企業との協働」

講師...坂本千晴(株・まちづくり商会)

コーディネーター...石見彰教(みどりの絆)

【問い合わせ先】名張市役所地域経営室

電話 0595(63)7484

防災啓発ゲーム クロスロード研修会

阪神・淡路大震災での神戸市職員の実体験をベースに災害時の対応をシミュレーションするカードゲーム教材「クロスロード」を使って、あなたのまちでもワークショップをやってみませんか?

【日時】9月25日(金)13:30~15:30

【場所】上野商業高校 中央棟1階基礎看護実習室

【定員】30名 【受講料】無料

【参加対象】住民自治協議会防災担当者・民生委員児童委員・自主防災会・防災ボランティア等、防災に興味のある方であればどなたでも受講できます。

【申込方法】伊賀市社協本所まで、受講者氏名及び所属団体名をご連絡ください。

電話 0595(21)5866

当日、伊賀流ふくし塾第2日目と同時開催します。

アニメ「天才バカボン」 から福祉を考える

伊賀流ふくし塾第3日目は、ちょっと変わった福祉のお話です。天才バカボンと福祉の関係とは如何に?

【日時】10月23日(金)13:30~15:30

【場所】上野商業高校 中央棟1階基礎看護実習室

【内容】講演

「アニメ・天才バカボンから福祉を考える」

講師 皇學館大学社会福祉学部准教授

吉田 明弘 さん

【定員】30名 【受講料】無料

【参加対象】どなたでも参加できます。

【申込方法】伊賀市社協本所まで、受講者氏名及び所属団体名をご連絡ください。

電話 0595(21)5866

映画「ゆずり葉」上映会

日本ろうあ連盟創立60周年を記念して制作された、ろう者と健聴者のヒューマン・コラボレーション映画「ゆずり葉」の上映会を開催します。

「ゆずり葉」は、人情あふれる東京の下町を舞台に、「もう一つの美しい言葉・手話」で織り成す、幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリーです。SPEEDのメンバーである今井絵理子が出演していることでも注目を集めている映画です。

文部科学賞選定・厚生労働省推薦

【上映日】9月26日(土)13:30~

【場所】あやま文化センターさんさんホール

【鑑賞料金】

前売り/大人 1,200円

高校生以下 800円

当日/大人 1,500円

高校生以下 1,000円

【チケット販売】チケットは、伊賀市社協本所で販売しています。

星いつぱい

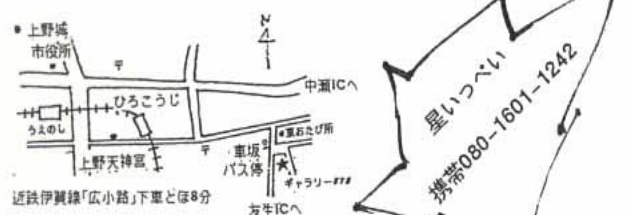
猫
ねこ
ネコ
展



ギャラリー 878

2009年 9・13(日)~19(土)

12:00~18:30(期間中無休)



★ 三重県伊賀市上野車坂町878 (車坂バス停前)

伊賀び～と紙面相乗りコーナー



皇學館大学 学生支援センター通信

今年も板井の担当する社会福祉士実習のシーズンが開幕しました。社会福祉士養成の制度的な意義にはいくつか疑問を持ちますが、現場に出た学生の姿には、毎年いろいろなシーンがあって、やりがいを感じています。

最近の板井の実習指導のコンセプトは、ずばり「Playful Learning」。聞きなれない表現かもしれませんが、教育工学やワークショップ研究などで使われる考え方です。ようするに「夢中になってワクワクする学び」ということ。従来の学校教育の学びには、一般的に指導要領があり、規則があります。教壇と机が限定されていて、ある意味で教師と生徒・学生の立場が明確に線引きされています。あえて表現するならば画一化されたしんどい場ですよね。あれをやっちゃいけない、こうしなければだめといった抑圧された学びですから。実は実習も現場に出る直前までは教室に全員集められて「日誌は毎日出すように」「あいさつすること」「積極的な態度で」という一方的なスタイルだったりします(これは反省)。つまり<inputな学び>。それに対して、実習の魅力はなんと言っても現場での実体験です。想像もつかないようなシーンに遭遇し、自分の意思で判断を求められて戸惑ったりするわけです。これはまさに<outputな学び>であり、創造性と共同性が養われます。ほんとにできるの?これ成功するの?ってことばかりに注意を向けるんじゃなくて、こうしたら面白いかも、あいつと一緒になら楽しめるぞ、といったふうな考え方の転換が実習の醍醐味だと感じています。

(社会福祉学部 板井 正斉)

ギャラリー常盤からのお知らせ

郷土史話

【日時】9月23日(水祝) 19:00～21:00

【会場】ギャラリー常盤 名張市本町(旧中村家具)

【テーマ】観阿弥の生国と小波田での創座をめぐって今年発行された梅原猛著うつぼ舟・観阿弥と正成で観阿弥の出自が伊賀であることを論証しています。その根拠となる上嶋文書の資料を梅原氏に提供したのが今回の講師、尾本博士です。

昭和40年代に能研究家の香西精氏や表章氏が観阿弥の出自について言及して以来、それまで伊賀となっていた定説がくつがえり結崎であるとの説が一般化しました。もう一度、申楽談義と上嶋文書を精査し、香西精氏らの説は誤りであることの故をお話していただきます。

【講師】尾本頼彦氏 相愛大学非常勤講師・文学博士

【参加費】無料、どなたにも参加していただけます。

資料300円前後を用意することがありますが購入は任意です。

【問い合わせ先】山下090(3389)4353

メール n-thinks@e-net.or.jp

ホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/n-thinks/>

ボランティアアドバイザーによる

名張ボランティア相談Day

ボランティア活動をもっと身近に感じてもらえたら…、活動の楽しさを伝えたい…

私たちアドバイザーとボランティア活動について気軽にお話しませんか?

日程のご案内

9月	会場	時間
1日(火)	梅が丘市民センター	13:00～15:00
8日(火)	百合が丘市民センター	10:00～12:00
9日(水)	桔梗が丘公民館	14:00～16:00
15日(火)	名張市市民情報交流センター	13:30～16:00
16日(水)	すずらん台市民センター	13:30～15:30
18日(金)	総合福祉センターふれあい	13:30～16:00

つつしが丘公民館での相談Dayはお休みです。。

～おしらせ～

梅が丘市民センター、百合が丘市民センターでの相談Dayは9月で終了します。

【問い合わせ先】名張市ボランティアセンター

電話 0595(63)1111

いが移動送迎連絡会

毎年言っていますが、今年の夏も暑かったですね～だんだん体に暑さがこたえるようになってきたのは…私だけでしょうか?

そんな中で、8月の連絡会は地域福祉計画の交通問題検討部会として、17名の参加者により大阪大学の猪井博登先生を交えて「伊賀市における交通問題2009年度研究」について、9月12、13日開催の国土交通大臣認定講習についてを主に話し合いました。

まだまだ続く出口の見えない交通問題ではありますが、伊賀市に於いては福祉有償運送が他市に比べてかなり普及促進しています。

しかし、お隣りの名張市では、コミュニティバスが普及しています。それぞれの地域において、どの様な移動手段がベストなのか?!

9月の連絡会では、三重県が推進している「美し国おこし・三重」の伊賀地域担当コーディネーターをお招きして、座談会を開催する予定です。興味のある方は、飛び入りでも結構ですのでご参加ください。



【今後のいが移動送迎連絡会のご案内】

【日時】9月16日(水) 19:00～21:00

【会場】上野ふれあいプラザ4階講座室

【日時】10月21日(水) 19:00～21:00

【会場】上野ふれあいプラザ4階講座室

【問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会

電話 0595(21)5866

森のアトリエ“ART ON”

森のアトリエでは、造形活動支援プログラムART ONを開催しています。本年度の伊賀市展の入賞に向けて、次の目標が楽しい創作をされていたり、気持ちのゆっくりする時間をすごされたりと、みんなの居場所づくりができたかと考えています。



M.M.

森のアトリエの歴史を共有して一緒に歩いてくださっている、M.M.さんの作品です。

御自身の感じていらっしゃるイメージを大事に、制作をされる方です。また、思い切りもとてもよい方で、制作の方向性の転換も、とても大胆で、だからこそ一筆一筆に生き生きとした生命感があふれている作品が生まれてきます。最新作は、広い風景のすんだ光にあふれる作品に挑戦中です。

障がいの有無に関係なく、子どもから高齢の方まで、いろいろな皆さんが絵を描いたり、ものを作ったり、ほっこりしたりとART ONの時間が過ぎていきます。

9月のART ONの開催日は、6日(日)・13日(日)・20日(日)の9:00～16:00です。よろしければどうぞお越しくださいね。お問い合わせは、下までどうぞ!

【問い合わせ先】森のアトリエ

伊賀市阿山ハイツ1390番地 電話 0595(43)0755

メール atelier_woods@lemon.plala.or.jp

誰もが町家で住み続けるための研究会 シンポジウム開催

伊賀に残る「町家」を保存していくために、誰もが快適に暮らし続けていける町家のあり方、課題等についてのシンポジウムを開催します。申し込み不要。

【日時】10月17日(土)13:30～

【場所】ゆめぼりすセンター2階大会議室

【内容】町家の暮らしを考える

～誰もが快適に住める町家のリフォーム～
講演会及び討論会

【問い合わせ先】

誰もが町家で住み続けるための研究会

電話 0595(23)5092(代表・滝井)

水と緑のたより

絵本「みずうみにきえた村」

アメリカ東海岸で、本当にあったお話。1939年生まれの子が、6歳の時それまで住んでいた村から引っ越すことになったのです。大人たち、特に男の人たちが何回も集まり話し合って決めたことで、誰一人子どもの考えを聞いてくれる人はいなかったとありました。みずうみとは人工湖、つまりダムのことです。



絵本の舞台はアメリカですが、川上の場合と大いに重なりました。ダムに水がたまり、作者が大人になった頃、お父さんが船を出してくれて水底にかすかに見える村跡を、指さしのぞき見たら当時の子ども時代の自分に会えた気がしたと結びにありました。

川上に思い出のあるどなたも、ダムにまつわる思い出をいつの日か形に残してくださるといいな、と思いました。

- 今後の予定 -

【日時】9月13日(日)10:00青山支所前集合
12:00解散予定

【内容】川上ハイキング

飲み物、弁当は各自ご用意ください川上まで車で移動。小雨でも行きます。

【日時】9月26日(土)13:00～15:00

【場所】西柘植市民センター

【内容】オオサンショウウオ観察会DVD鑑賞

TV放映されたDVDを鑑賞し、その後川上の自然環境について話し合います。特に阿山、伊賀地区のみなさんどなたでもご参加ください。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人 伊賀・水と緑の会

事務局 0595(52)1721 畑中

伊賀線応援通信

9月になりましたが、まだまだ暑さ厳しく、草引きも重労働です・・・。「引いても引いても、キリがないね」と言いつつ、いつも力になってくださる方がいるので感謝しております。もっと輪が広がってほしいと願っています

これからも作業を続けていきますので、ご協力お願いします。

【日時】9月21日(月) 9:00～12:00

【場所】伊賀鉄道茅町駅

【日時】10月12日(月)9:00～12:00

【場所】伊賀鉄道上野市駅

【内容】作業ができる服装で、カマや軍手等の作業道具をご持参の上、現地までお越しください。草引きと追加定植が主となります。小雨決行します。

【事務局】ふるさと鉄道保存協会

ワフ30037伊賀ワーキンググループ

〒518-0124 伊賀市下郡222番地

電話 090(3302)0627

NPO 伊賀の友便り (34)

8月9日(日)に第3回伊賀の友夏祭りを行いました。

お天気が心配されましたが、ちょうどお祭りの間だけ雨もお休みしてくれ、がんがん照りでもなく、過ごしやすい日でした。



約60名の方に来ていただき、特に小さい子供さんがたくさん見えました。

ヨーヨーつりも最後にはプールになっちゃいました！来年はもっと大きいプールにするね。お楽しみに！

特定非営利活動法人「伊賀の友」

伊賀市下友生2367 電話 21-1833

W.T.Aまちづくりセンター

たまたま出合って訂正してもらっても、「え？そんなはずない！」と言ってしまったり…

思い込んでいることってありますよね。

違いますよ。今日は6時からやね。



確認する余裕も大事ですね。暑さでポケットとしやすいのかしら

例えば、日にち、時間など、間違ったまま覚えていたり…



0/5
6:30~

○月○日
18:00~
開始です

よく似た名称の会議など、結構ありますよね。自分の中で、分かっているつもりでスケジュール帳に書き写すときに省略して書いたりして、あとで見直してみたら、別の会と間違えるような省略の仕方だったために、遅れてしまったり…。また、時間の書き写し間違いなどもあって、30分間違っただけであつたら、当然遅刻になるし。

もう一度見直す余裕があつたらいいのですが、なんだかばたばたしている中でメモをすろとこういことが起こりがち…。

こんなときこそ余裕をもって対処することが大事なんですよ。分かっている、次に活かせるなかつたらもったいないですね(><)

反省しつつ、暑さに負けないためにも、皆さんも余裕を大事にしてくださいね♪♪

三重県上野森林公園 10月の行事予定

三重のもりづくり月間 森の音楽会と森の講座

森の音楽会

日時…10月18日(日)
13:30~15:00

当日自由観覧。(事前申し込み不要)

さわやかな秋空のもとで緑と音楽に包まれて過ごしてみませんか。今年で6回目になるモリメイト企画・実行の「森の音楽会」は、伊賀及び近隣地域で活動している音楽グループの生演奏です。特設屋外ステージで今年はどんなグループの演奏が聴かれるのでしょうか。お楽しみに！(雨天の場合は研修室が会場になります。)

森の講座「枝笛作り体験」

日時…10月18日(日) 9:30~15:30
事前申し込み不要。(小学生以上の子供向け。)

森の小枝で、手の中に入るかわいい笛を作ろう。できあがったら、森の中で鳴らしてみよう！仲間と違って鳥たちが近くまでやってくるかも。



「森の絵画展2009」開催します！

展示期間…10月1日(木)~10月31日(土)

展示時間…9:00~17:00

展示場所…ビジターコテージ 展示室

さわやかな公園の秋の一日を、芸術に親しんで過ごしませんか？園内でスケッチした作品をビジターコテージで展示します。自由観覧ですので是非ご覧ください。



すべての人が共に支え合って暮らしていくことのできる社会をめざして活動しています。

NPO 法人ユニバーサルデザイン同夢(どうむ)

いま、すべての人にやさしい色(いろ)の必要性が求められています。

色・・・いろいろ・・・ 10月4日(日) 13:30~15:45

「カラーユニバーサルデザイン」講演会

国内の320万人、男性の20人に1人が色弱者だといわれています。

人はみんな、さまざまな夢や希望を持っているように、見ている「色」も違います。

自分以外の人たちの色の世界はどのようになっているのでしょうか。

信号機の色は？ 地下鉄の路線図は？ 電光掲示板は？ 「色」について知り、学びませんか！！

場所：伊賀市ゆめぼりすセンター 2階 大会議室 参加費：無料

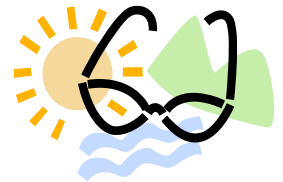
講師：伊賀 公一 さん (NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長)

定員：50名 要約筆記・磁気誘導ループ 有 託児 有(要予約 締切9月24日)

問い合わせ先は：〒518-0823 三重県伊賀市四十九町 1278-26

TEL&FAX 0595-23-9513 Eメール son@doumu.net

URL <http://www.doumu.net>



霞仙女のタロット・セラピー「今月の切り札」(14)

“聖杯のクイーン”



は〜い皆様、こんにちは！

暑さ寒さも彼岸まで…。一週間ほどで急激に涼くなる時、体調をくずさないように。

さて今月は、とても美しく私も大好きなカード、「聖杯のクイーン」です。

タロットはトランプのように四大元素(火・水・風・地)あるいは性格の4タイプ(直感・感情・思考・感覚)で表されます。その中で「聖杯」は、抽象的なものや、感情を表します。そして「女王」は、時間にすれば中ごろを過ぎたあたり、代表を支えるサポート役や女性にしかできない能力などを表します。ウエイト版のカードで、彼女が持っているカップはとてもゴージャスです。これは、女体の神秘的なバイオリズム、子宮、生理的な影響を表します。彼女は、貝殻や魚のモチーフの衣装をまとうて玉座についていますが、足元にも海の生物がいて、目の前は海です。

海はすべての命を育み、水は蒸発して大地に降り注ぎ、気圧や風によって大きく小さく何度も何度も波うっています。全体的に優しい青みがかかった色調は、芸術や神秘的な力や、情緒的で深遠な、静かな心の動きを表しています。海は、「愛」です。

このカードが出るときは、周囲のどんな出来事にもあわてず、愛情豊かで品格のある立ち居振る舞いで静かに物事を観察する態度や性格が強調されます。憂いを帯びた色っぽい物腰ながらも深い愛情に根ざした強い力を発揮する女性の影響があるのです。悪く言えば、感情に流されやすくハッキリと返事のできない優柔不断なところもありますがね。夢見がちで非現実的な、ボンヤリしやすい天然なところもあるのです。そうそう、「水」が大切ですよ。水に流すとか、洗うとか、そういうことですよ。

【今月のキーワード】「慈愛・魅力」… 少し行動を控えて、音楽や絵画などの芸術鑑賞がラッキーですね。

友情・約束・信頼・優しさなど、形に表せないものを大切に！

女性の影響が大きく、消極的で受け身であることがわかります。

あえて「はっきりしない」ことが、いいこともあります。

「霞の館」 伊賀市服部町一丁目72番地 ご予約・お問い合わせ TEL・FAX 24-6006

ひとりで悩まないで、お気軽にお越しくださいね。



NPO法人 伊賀の伝丸

伝丸 会員募集中

=言葉・ことば・コトバ=

<ロシア語編>

日本とはお隣の国なのに、なぜか遠く感じるロシア。ロシア語と言われてもピンとくる人は少ないのではないのでしょうか？



ところで皆さん、お寿司は好きですか？好きなネタは「イクラ」なんて人も多いのでは？その「イクラ」はなんとロシア語なんです。元々は「魚の卵」という意味で使われていて、タラコも数の子もキャビアだってロシアの人たちにとっては全て「イクラ」。もっとも、ロシアでは「イクラ」のことは「赤いイクラ」、キャビアのことは「黒いイクラ」と呼んでいるんだそうです。

日本人にとってあまり馴染みのないロシア語だったのが、少しは身近に感じられるようになったかな？

学んだ語学を活かしたい人
地域で何か活動したい人
外国人と友達になりたい人など
会員特典... 語学講座の割引

... 多文化交流会への参加など

詳しくは事務局までお問い合わせください



伊賀の伝丸は **言葉の壁を乗り越えて、ともに住み良いまちづくり**をする団体です

多言語通訳・翻訳・語学教室の
NPO法人 伊賀の伝丸(つたまる)
〒518-0861 伊賀市上野東町
TEL&FAX 0595-23-0912
E-mail info@tsutamaru.or.jp
URL http://www.tsutamaru.or.jp



人情集団 An-Pon-Tan 「夢のバリアフリーミュージカル」

たくさんのご来場ありがとうございました！！

8月9日(日)伊賀市文化会館で人情集団 An-Pon-Tan 「夢のバリアフリーミュージカル」がおこなわれました。舞台の緞帳(どんちょう)が上がると、目の前にはたくさんのお客さん。「鳥肌がたった！！」「オープニングから涙がでた！！」とメンバーの声……。An-Pon-Tan メンバーはお客さんの拍手や手拍子に後押しされ、力いっぱい演じることができました。

舞台終了後、メンバーは感激のあまり涙が止まりませんでした。来ていただいたお客さんから「よかったよ！！」「これからも応援しています！！」とあたたかい声をかけていただきました。その言葉に、「ここまで頑張ってきてよかったな」と実感しました。



主役を演じた伊賀市在住の蓬田清美(左)と海野佳世(右)



伊賀公演を迎えるにあたり、An-Pon-Tan をあたたかい心で支えていただいた、伊賀実行委員のみなさん、サポーターのみなさん、伊賀び〜と編集委員会のみなさん、そして伊賀のみなさんに心より感謝いたします。An-Pon-Tan は本当に幸せ者です！！

An-Pon-Tan の公演は10月まで続きます。伊賀のみなさんからいただいたエネルギーを胸に、これからの公演頑張っていきます。本当にありがとうございました。

「ほっとけへん」 気持ちと気持ちが つながって 大きな輪になる ボランティア

エコキャンドルづくり体験♪

要予約♪

お1人 1500円 (この体験のみなら入場料不要)

【所要時間約60分】

あなたの好きなカラーで世界にひとつのキャンドルづくり♪
楽しく作って使って、地球温暖化防止とリサイクルに
貢献してみませんか?



作品例

石窯ピザ



お手軽♪

石窯ピザづくり&プチスローコーヒー体験♪

平日限定メニュー♪ 要予約♪ 【所要時間約30分程度】

ピザ2枚以上ご注文のお客様には、
ピザ1枚につきかわいいコーヒーカップ2杯分の
プチスローコーヒー体験付き♪

☆料金例☆

4名様で、ピザ2枚なら お1人1,475円 (入場料込)
8名様で、ピザ4枚なら お1人1,210円 (入場料込)

三重県産小麦粉を
使用した人気のおいしい
体験メニュー



No.17 (09/09)

かわら版 みどりの絆

特定非営利活動法人 みどりの絆



ぐりんぼんず

時には陽気に肩の力を
抜いて・・・愚おくり
Pay it forward

名張市園芸福祉市民講座開催のお知らせ
名張市園芸福祉推進事業

「園芸福祉実践講座」(講習+施設研修)
フォローアップ&活動支援講習

10月9日開講

必要なところだけ学ぶことが出来る受講自由選択制

初めての方は入門講座から・・・
すでに実践されている方は実践講習から・・・
まずは園芸に親しんでからという方・・・
各講座の園芸実習のみの参加もOK!!

どこからでも必要なところだけ受講できます

もちろん!!全ての受講もOK
3回以上の受講(実習のみは不可)で修了書を発行!!

活動の幅を広げたい方
即実践を考えている方

学んだことを即実践したいという方・・・
フォローアップ研修で即実践へ

詳しくは下記事務局まで氏名、住所、連絡先をご記入の上、ハガキ、FAX、メールにてお申し込み下さい。
折り返し、講座内容、参加申込用紙などの資料をお送りいたします。

「園芸福祉初級講座」は9月11日開講
下記事務局までお申し込み下さい

事務局 〒518-0753 三重県名張市蔵持町里 2405-3 Fax 0595-48-6160

Mail wish-care@krc.biglobe.ne.jp ホームページ <http://www.m-kizuna.com>

伊賀市市民活動支援センター

「美し国おこし・三重」
広報・情報発信研修
受講生募集

伊賀会場（名張高校）
1日目 10月25日(日)
2日目 11月14日(土)
3日目 11月29日(日)
時間 10時から17時
定員 20名
申込期限 10月15日(木)
詳細につきましては、下記
までお問合せください。
「美し国おこし・三重」推進室
TEL 059 - 224 - 2644

市民活動団体登録のお願い！

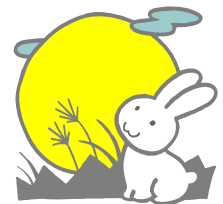
市民活動支援センターでは、市民活動団体登録をお願いしています。この団体登録は、市や伊賀市社会福祉協議会とデータを共有するとともに、三重県の市民活動団体情報としても登録をさせていただいています。今後、支援センターからの情報を連絡先メール等によりお届けさせていただきます。それぞれの市民活動団体の活動を知っていただく機会、情報提供・発信の機会として、ご登録をお待ちしています。

メールボックス・保管ロッカー 利用者募集

私書箱機能付きのメールボックスと保管ロッカーを無料でご利用いただけます。利用期間は1年となっておりますが、更新可能です。詳しくは下記市民活動支援センターまでお問い合わせください。

交流・情報スペース利用のご案内！！

市民活動支援センターでは、ゆめぼりすセンター1階に交流・情報スペースを設置しています。このスペースは市民活動・ボランティア活動などの公益的な活動の打ち合わせや市民活動団体等の活動報告会、交流の場として無料で使用できます。皆様のご利用をお待ちしております。なお、ご利用に関する詳細については、下記市民活動支援センターまで、お気軽にお問合せください。



〒518-0131 伊賀市ゆめが丘 1-1-4 ゆめぼりすセンター内
TEL:0595-22-1511(代表) FAX:0595-22-0317 E-mail: igasksc@ict.ne.jp
ホームページ: <http://www.ict.ne.jp/~igasksc/> ブログ: <http://blog.canpan.info/igasksc/>
支援センター休館日: 年末年始(臨時休館あり) 開館時間: 午前9時から午後10時まで
(ただし、開館日の午後5時以降の夜間利用は、2日前までの事前申込が必要です。)

地域福祉計画 ニュースレター

VOL.40

「伊賀び〜と」をご覧の皆様、こんにちは。計画策定時の平成17年から発行しているこのニュースレターも40号となりました。地域福祉計画では公募メンバーを随時募集しています。地域福祉推進に関する様々な検討を行っていますので、興味のある方は是非検討に加わってください。

<会議報告>

開催日	テーマ別検討部会	開催場所・時間	内容
8/6(木)	地域福祉教育 推進プラットフォーム検討部会	名張市市民情報交流センター 18:30~	伊賀流ふくし塾開催報告 情報交換
8/7(金)	協働のしくみ検討部会	ゆめぼりすセンター 19:00~	「伊賀市における協働のしくみ」素案資料の検討
8/10(月)	交通問題検討部会	上野ふれあいプラザ4F 講座室 19:00	伊賀市の地域交通について 大阪大学大学院 猪井博登氏をお迎えして
8/24(月)	福祉でまちづくり検討部会	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム 13:30~	コミュニティビジネスの推進について 安心生活創造事業、「地域福祉あんしん保証システム」構築事業について

<テーマ別部会等開催予定>

開催日	テーマ別検討部会など	開催場所・時間	内容
9/3(木)	協働のしくみづくり検討部会	上野ふれあいプラザ4F 講座室 19:00	「伊賀市における協働のしくみ」素案資料の 検討 立教大学原田晃樹氏をお迎えして
9/16(水)	総合相談支援検討部会	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム 14:00~	医療相談員の業務(講師:上野総合市民病院 医療相談室 福谷尚和さん、松井奈帆子さん)
9/28(月)	福祉でまちづくり検討部会	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム 13:30~	小地域福祉活動の活性化について

【問い合わせ先】伊賀市健康福祉部 介護高齢福祉課 ☎0595-22-9634/伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-21-5866

コラム & コラム & コラム

女性と子どものためのコラム “ mayu ” 「ゲシュタルト」



女性と子どものヘルズライン・MIE (mayu)

ゲシュタルトとは、「全体」とか「統合」とかと言う意味。木を見て森を見ないことを諷めている。ある方面から見るとAと見えることが、別の方面からはBに見える。見る角度によって、同じ事柄でも違って見えてくる。全体を見て、全てを把握するとAもBも見えてくる。そしてそれ以外の全体像も見える。

日常の中の日々の暮らしに追われていると、日々の細々としたことしか目に入らなくなる。子どもを産み育て、毎日子育てに追われていると、子育ての本質が分からなくなってくる。子どもが泣いた、笑った。と言う日々の子どもとの暮らしは楽しく、目が回るほど忙しい。それだけで大満足である。しかし、子育ての本質は、子どもが独立し、社会参加し、親である私から独立することにある。

子どもとの生活は毎日がとても忙しく、充実したものである。其中でも、わが子は自分とは違う一個の尊厳ある人格を持った1人の「人間」である。と言うことを一時も親は忘れてはならない。私が子どもに色々期待するのは、私の自由。子どもが親である私に色々期待するのは、子どもの自由。お互いが相手の期待通り動けたら、それは奇跡のように素晴らしい。お互いの期待通りに動けなくても、私に取ってわが子は可愛い存在。そして、わが子に取って私はまぎれも無い親である。其の関係性には微塵も違いは無い。親子の相互信頼は、お互いの期待通りでも期待通りでなくても変わりはない。

ゲシュタルトは更に説く。幼い子ども時代はともかく成人し大人になったら、自分の「行動」「思考」「感情」は自分のものであり、他者のものではない。と。「他者」とは自分以外の全ての人間を指す。其れは自分の親や子どもや配偶者も含む。

自分の「行動」は言うに及ばず、自分の「思考」も「感情」も自分のものである。「Aが自分を怒らせた」「Bが自分を傷つけた」はゲシュタルトでは成立しない。「Aの行動を見て、自分が怒った」「Bの言葉をきいて、自分が傷付いた」とあくまでも「主体」は自分である。

自分の感情や思考や行動のコントロールを他者に手放すのは止めよう。自分でしっかり持っていよう。自分の感情は自分のもの。自分の思考も自分のもの。思考や感情が自分のものであり、自分から出ていると理解できると、その思考や感情を自分でコントロールすることが可能になる。

感情や思考から由来する自分の「行動」に関して自分でコントロールできる。他者には自分の行動や感情・思考をコントロールすることはそもそも不可能。「自分の行動・感情・思考には自分で責任を持とう」と当たり前のことを言っているのが、ゲシュタルトの好いところである。

kisukeの映画談義 ご当地グルメ



「ご当地グルメ」によるまちおこしや観光資源開発が活発化しています。その地方の名産や郷土料理のことを指すように思われますが、ちょっと違うのです。その地方に店がたくさんあったり、市民が家庭でも気軽に作ったりと生活に根付いたメニューであることがポイントで、有名な所では栃木県宇都宮市のぎょうざ、静岡県富士宮市の富士宮やきそばがあります。三重県内では、津市の津ぎょうざが最近話題になっています。津ぎょうざとは、直径15cmの皮を使った揚げ餃子であり、小学校の給食メニューとして定着しているのです。

「ご当地グルメ」は、まちおこしの一環ですので、宣伝方法や関連イベントにアイデアが絞られます。例えば富士宮やきそばのイベントは、「天下分け麺の戦い」「三者麺談」などがあり、やきそば店の認定書は「麺許皆伝」であったり、レシピ集は「やきそばバイブル(旧焼・新焼あり)」などなど、真剣なのか悪ノリなのか独自のセンスが光るものばかりです。「なんだか面白そうだな」と思わせることが大事な要素であることが非常によく分かる話です。

富士宮やきそばのイベントはそのまま映画の題材になりそうですが、意外に地方と食をテーマにした映画は少ないのです。香川県を舞台にさぬきうどんがテーマの「UDON(2006年)」という映画がありますが、これは地方の生活と定番の食をうまくまとめ、人々の暮らしを描いた数少ない名作と言えます。「ご当地グルメ」によるまちおこしが映像化されれば、食を中心に人々の生活とまちがそのままの形で登場できますので、いいことづくめなのです。

では伊賀地区の「ご当地グルメ」は何でしょうか？僕は昔どこかのパン屋で見た忍者の顔の形をしたパン「服部パン蔵」が面白いと思います。服部パン蔵の創作コンテストなんかを企画すると、個性あふれる忍者食が飛び出すかもしれません・・・今回は食べ物のお話ばかりですね。映画による芸術の秋よりも、ご当地グルメによる食欲の秋を先取りしてしまいました。みなさんもお出かけの際は、ぜひ色々なご当地グルメを探してみてください。(伊賀映像文化推進委員会 木村 直史)

堀内晶の伊賀思ひ出紀行 「観菩提寺・西念寺・池辺寺」

(伊賀市猿野 堀内 晶)



平成16年11月13日 旧島ヶ原の観菩提寺へ参る。昔からの言い伝えによると、天平15年(743)から近江国信楽に2年間「紫香楽宮」が設けられ、平常宮(奈良)との交通のため、行宮が建設され、その後、行宮の跡に良弁僧正に命じて堂宇を建設せしめ「正月堂」と称した。県指定無形文化財になっている修正会の行法で有名である。聖武天皇の時代に良弁



僧正の高弟の実忠和尚が開基し、その後300年余をへて島ヶ原一族が再興し江戸時代前・中期に定着した。現本堂・楼門は室町時代前期の建造で国の重文である。楼門の内側の正面左右の両脇に室町末期作の仁王門、背面に藤原期の広目天・多門天立像(県文化財)が安置されている。本尊の十一面観音立像(国重文)は檜材の一木造で、鰐口は応永31年(1424)銘があり県の指定文化財である。正月堂は紅葉の映える美しい樹が多く、折から曇っていた天候も晴れわたり撮影日和となる。

次に、天台真盛宗の西念寺へ参る。同じく島ヶ原の大川沿いに点在する中村の集落にあって正月堂の南下の方角ですぐ近くである。樹齢500年を超える榎の巨木がひときは神々しく聳え立ち、由緒ある寺の歴史を語っているようである。本尊は長さ七寸の阿弥陀座像で、源三位頼政の従士渡辺源三競の守仏であり、山州相楽郡加茂(京都府)の渡辺一族の守本尊を当地に招来して開いた。真盛上人が、西蓮寺の四十八夜別時念仏会をすませて京都へ帰る途中、島ヶ原から加茂の船屋まで川船で下り乗り継ぎのために上陸して、川辺の地藏堂で念仏と法話をつとめたと、「山城加茂常念寺誌」に記されている。本堂は七間六間と当地には稀な大伽藍を誇りとし、寺室には、県文化財の絹本着色仏涅槃図(鎌倉時代)、旧村文化財の阿弥陀如来石仏(室町時代)真盛上人供養塔(室町時代)がある。

平成16年12月11日。平成16年は、わが家にとって昭和59年以来、2回目のキッチンや居間・玄関座敷などのリフォーム工事をしてもらったが、その折の大工さんが古山地区の人であった関係で探訪を思い付く。旧上野市の南郊予野の真言宗豊山派の池辺寺へ参る。昭和63年1月に伊賀四国八十八ヶ所巡拝の三回目に参加してから16年ぶりですごなりの花垣神社の別当寺である。圓海法師の開基で、延宝元年(1673)に再建されたという記録が残っている。本尊の不動明王は蘇我馬子の作と伝えられ、又、寺号の「池辺寺」については、「弁天池」の辺りにあったと言われている。現在の本堂は平成6年に、庫裏は平成11年に新築された。

室地聡の一刀両断世相“斬り”(五十)「インフル予防の極意」

まだ暑い日が続いているのに、新型インフルエンザが猛威を振り始めて、この日ごろはその報道でまあ賑やかなこと。それにしても思い出してみてください。今年4月、メキシコでこの新型が発見された直後のあの大騒ぎ。物凄い人手と予算を使って“水際作戦”を展開しながら、それが功を奏さず、しばらく経って気付いてみれば「エライことになってまっせ!」と再び大騒ぎ。

見当違いなんですよ、打つ手打つ手が……。豚 豚型が豚 人型、更には人 人型に変異したのがメキシコだから、メキシコを含む中南米や北米から入って来るのを防ぎさえすれば日本が汚染されることはないと思っていたわけ。しかし前にも書いたとおり、日本にも豚はいる。だとすると当然“豚インフルエンザ”はいたわけだし、メキシコの豚インフルエンザが何らかのメリットを感じて豚 人型、更には人 人型に変異した、だったら日本の豚インフルエンザも同じように変異しても全然おかしくないのに、全くその視点が欠落。もっといえば、インフルエンザたちの情報伝達・情報交換の世界的規模のネットワークなどは全く考えもせずに、国・地方自治体・医療機関・・・挙げての水際作戦。

医学者たちは彼らが“病原体”と呼んでいるウィルス・細菌などの微生物が、医学・薬学の粋を集めて開発した薬剤などに対していつの間にか耐性を持ってしまふ、その過程で、今も言ったように、微生物たちの間での世界的規模での情報交換網、情報伝達網が存在している、そんな仮説にすら持ったことがなかったのではないかとにかくピンとがずれているんですよ。そのピンズレの人たちが、インフル予防の決め手としてご推奨になるのは、「手洗い、嗽にマスクです!」。こんなの明らかにピンズレで、正直言って屁のツッパリにもなりません。外出して汚染されるのは、手と口・喉だけなんてあり得ない!もの。大事なことは一人ひとりが日ごろから“生氣”横溢、“元氣”一杯の状態になっておくこと。元氣が、生氣が横溢していれば病魔に取り付かれることはまずないし、間違っても取り付かれたとしても、早期に退散に追い込むことができる。

さて“生氣”横溢の状態にはどうしたらなれるか。これは実に簡単で、旺盛に“元氣”を出しさえすればよい。旺んに出せば盛んに入ってくるのが道理と言うもので、瞬時にして“生氣”横溢の状態になれる。でもどうすれば効果的に“元氣”が出せるのか?これまた簡単なことで、喜びに満ちた前向きな態度を持って、喜びに満ちた前向きな生活・人生を実践しさえすればそれでOK。そして時にはこれを集団で実践する。“和氣藹々”というコトバがあるが、これはお互いが氣を和して(合わせて)藹々、つまり夏、草木が物凄い勢いで繁茂する、あの燃え上がるようなエネルギーの時空間を人為的に作り出す、そのことによって、インフルエンザなどこ吹く風、という条件が得られる。そしてこのことを実践しているのが、“歌声サロン”。(“歌声サロン”については、伊賀市社協でお問い合わせください。)と言ったところで、九月号の打ち止め……。



なぎの「ぷらっと会議」通信



8月のぷらっと会議は、6月に移転した「名張市市民活動支援センター」を会場に開催しました。参加者は16名。それぞれが持ち寄ったチラシについての説明や検討など、9時半ごろまでみっちり議論が続きました。参加者が入れ替わりつつも、議題に困ることなく時間が過ぎていきます

何か相談等がありましたら、この場を活用してくださいね。

次回ぷらっと会議のご案内

9月のぷらっと会議

【日時】9月8日(火) 18:30~21:00

【場所】皇學館大学本館研究棟2階

10月のぷらっと会議

【日時】10月5日(月) 18:30~21:00

【場所】青山福祉センター

当日詳しい会場がわからない場合は

090(3302)0627までお電話ください。

鬼瓦編集長の市民活動時事批評



Part53「ITの力をNPOの力に！」



すでにご存じの方も多と思いますが、TechSoup(テックスープ)は、社会問題の解決のために活動する世界中の民間の非営利団体が最大限の力を発揮できるよう、ソフトウェアなどのIT製品を提供するほか、ITのサポートを行っています。

このプログラムはアメリカ・サンフランシスコに拠点を置くTechSoup Globalを中心に、世界23カ国で実施されており、各国でNPOとのパートナーシップのもとに事業展開されています。協力企業は全世界で35社を数え、事業開始からこれまでに約470万本、小売価格で約14億ドル(約1400億円)相当のIT製品を寄贈しています。日本では、TechSoup Japanとして、特定非営利活動法人日本NPOセンターがプログラムを提供し、アドビシステムズ株式会社、株式会社シマンテック、マイクロソフト株式会社がソフトウェアを提供しています。

TechSoupに市民活動団体として登録することによって、上記の企業が発売している高額なソフトウェアをわずかな手数料のみで寄贈を受けることができます。是非一度情報収集してみてください。

日本NPOセンター <http://www.jnpoc.ne.jp/>
TechSoup <http://www.techsoupjapan.org/>

伊賀び〜と原稿募集!

伊賀び〜とに掲載する原稿を募集しています。掲載料は無料です。

【募集原稿】

伊賀びと(表紙)

ユニークな市民活動をしている方をご紹介ください。自薦・他薦を問いません。事前にインタビュー取材をします。

なんでもかんでも情報BOX

イベント告知、ボランティア募集等なんでもOKです。必要事項をご連絡ください。

紙面相乗りコーナー

毎号決められたスペース(最大A5版横)に掲載します。

コラム&コラム&コラム

市民活動に関するコラムであれば何でもOKです。800字程度を限度に受け付けます。

【原稿送り先】

伊賀び〜と編集委員会

〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1上野ふれあいプラザ3階 E-mail ue-vac@hanzou.or.jpまでメールか郵送で毎月10日までに送ってください。

発行 伊賀び〜と編集委員会 ホームページ <http://www.hanzou.or.jp/beat/>

窓口=プラットホーム

名張市市民活動支援センター 〒518-0775 名張市希央台5-19 Navarie 2階 名張市市民情報交流センター内
電話: 0595(63)5325 FAX: 0595(63)5326 E-mail: c-center@city.nabari.mie.jp

伊賀市市民活動支援センター 〒518-0131 伊賀市ゆめが丘1-1-4 ゆめぼりすセンター内
電話: 0595(22)1511 FAX: 0595(22)0317 E-mail: igasksc@ict.ne.jp

名張市社会福祉協議会 〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい
電話: 0595(63)1111 FAX: 0595(64)3349 E-mail: volunteer@nabarishakyo.jp

伊賀市社会福祉協議会 〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階
上野支所 電話: 0595(21)5866 FAX: 0595(26)0002 E-mail: ue-vac@hanzou.or.jp

伊賀支所 〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」
電話: 0595(45)1012 FAX: 0595(45)1050 E-mail: iga-vac@hanzou.or.jp

島ヶ原支所 〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」
電話: 0595(59)3132 FAX: 0595(59)3145 E-mail: shima-vac@hanzou.or.jp

阿山支所 〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター
電話: 0595(43)1854 FAX: 0595(43)1577 E-mail: aya-vac@hanzou.or.jp

大山田支所 〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター
電話: 0595(47)0780 FAX: 0595(46)1165 E-mail: oo-vac@hanzou.or.jp

青山支所 〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター
電話: 0595(52)2999 FAX: 0595(52)3555 E-mail: ao-vac@hanzou.or.jp

W.T.Aまちづくりセンター 〒518-0124 伊賀市下郡199 E-mail: nagi_47_4_3@yahoo.co.jp
電話: 0595(24)7612 携帯mail: nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp

皇學館大学名張キャンパス 学生支援センター 〒518-0498 名張市春日丘7番町1番地
電話: 0595(61)3351 FAX: 0595(61)3350 E-mail: gakusen@kogakkan-u.ac.jp

「おきつも情報局」 〒518-0719 名張市栄町2935-20 皇學館大学まちなか研究室事務室内
電話&FAX: 0595(63)8139 Email: okitumo@stu.kogakkan-u.ac.jp

今回の伊賀び〜とは10月1日発行予定です。